

都市再生整備計画事業 事後評価 赤塚駅周辺地区（２期）

都市再生整備計画事業とは？

都市再生整備計画事業（旧まちづくり交付金事業）は、地域の歴史・文化・自然環境等の特性を活かした地域主導の個性あふれるまちづくりを実施し、全国の都市の再生を効率的に推進することにより、地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図るための制度です。

水戸市では、平成２３年度から平成２７年度までの期間において都市再生整備計画『赤塚駅周辺地区』を策定し、国から交付金を受けながら計画に沿った事業を進めてきました。

都市再生整備計画事業の事後評価とは？

平成２７年度は『赤塚駅周辺地区』の最終年度であることから、事後評価を実施しました。

事後評価とは、事業前の計画段階で設定したまちづくりの目標について定量化した数値指標を設定し、事業の最終年度にこの指標の達成状況を確認し、効果発現要因について確認するとともに、今後のまちづくりの方策等について検討するものです。事後評価の段階で計測できない数値目標については、「見込み」の値で評価を行い、翌年度以降にフォローアップを実施します。

公表期間

平成２８年４月１日（金）からフォローアップ完了まで

関係書類

事後評価シート（案）

赤塚駅周辺地区 都市再生整備計画事業 事後評価原案の概要

まちづくりの目標

『赤塚駅周辺地区』では、まちの課題や総合計画等の将来のビジョンを踏まえ、まちづくりの目標を次のとおり設定しました。

大目標 拠点機能の充実の促進と、人と人、人と自然がふれあうまちづくりの実現

目標１ アクセス向上による拠点機能の充実の促進

目標２ 人と自然がふれあう空間づくり

目標３ 豊かな地域コミュニティの実現

事業の実施

まちづくりの目標を実現するための施策として、次の事業を実施しました。

主な事業	
目標 1	【道路事業】赤塚駅西線・赤塚駅水府橋線・幹線市道 27 号線（河和田・開江線） 【地域生活基盤施設】排水路（姫子 1 丁目）
目標 2	【公園事業】大塚池公園
目標 3	【地域生活基盤施設】排水路（姫子 1 丁目） 【高次都市施設】水戸市見和市民センター 【地域創造支援事業】水戸市消防団第 13 分団詰所

目標 1
の事業



【地域生活基盤施設】排水路（姫子 1 丁目）

目標 3
の事業



【高次都市施設】水戸市見和市民センター

目標 2
の事業



【公園事業】大塚池公園



【地域創造支援事業】水戸市消防団第 13 分団詰所

指標の設定と目標の達成状況

まちづくりの目標を定量化した数値指標を設定し、この指標の達成状況を評価します。本地区では、4つの指標を設定し、事業前（従前値）と最終年度（評価値）において達成状況を評価しました。

目標	指標	単位	従前値	目標値	評価値	達成度	
目標 1	指標 1	【車両の走行時間】	分/秒	8分 16秒	7分	7分 36秒	△
	指標 4	【道路冠水箇所数】	箇所	2	1	1	○
目標 2	指標 2	【公園の利用者数】	人/日	1,000	1,100	1,124	○
目標 3	指標 3	【市民センターの利用者数】	人/年	10,000	11,000	38,306	○

指標 1 は、目標を達成することが出来ませんでした。それ以外は目標を達成することができました。

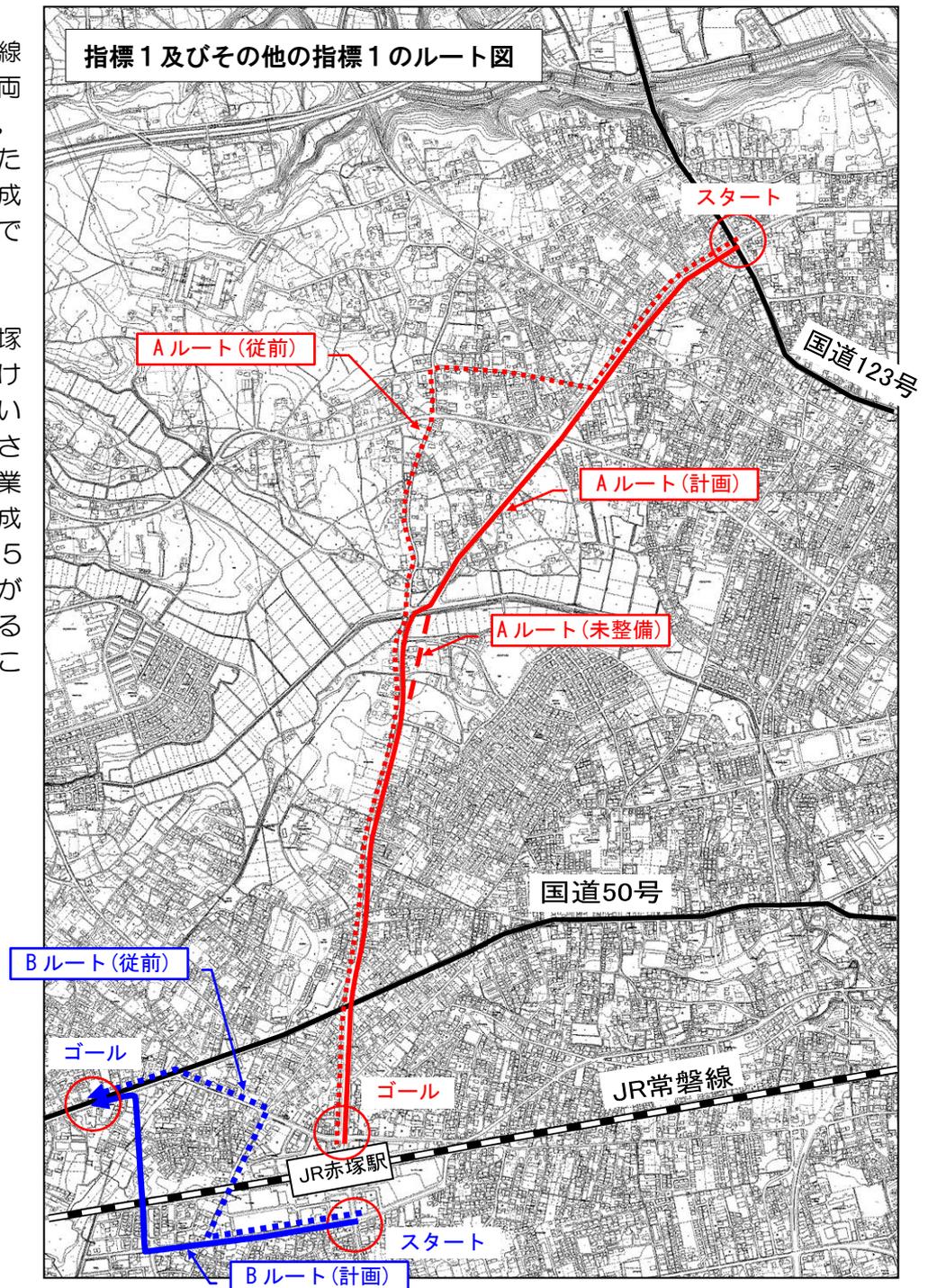
未達成の指標について

未達成の指標1については、新たに「その他の指標」として「赤塚駅西線の車両の走行時間」を設定しました。「赤塚駅西線の車両の走行時間」をその他の指標とすることで、赤塚駅周辺について、南北地区の一体化に向けた道路体系の強化及び拠点機能の充実が図られることを想定して、検証しました。

目標	指標	単位	従前値	目標値	評価値	達成度	
目標1	指標1	【車両の走行時間】 赤塚水府橋線 (A) ルート	分/秒	8分16秒	7分	7分36秒	△
	その他の指標1	【車両の走行時間】 JR常磐線をまたぐ赤塚駅西線の走行時間 (B) ルート	分/秒	9分19秒	—	3分56秒	○ 5分23秒 短縮

指標1：赤塚水府橋線 (A)ルートにおける車両の走行時間については、道路整備が未完成のため、目標値の7分を達成することはできませんでした。

その他の指標1：赤塚駅西線 (B) ルートにおける車両の走行時間について、赤塚駅西線が整備されたことを想定し、事業前の9分19秒から完成後3分56秒となり、5分23秒短縮することが想定され、事業における一定の効果が図られることが確認されました。



まちの課題の変化・今後のまちづくりの方策

指標によって確認された成果によって、計画策定時点の課題がどのように変化（改善）したかを評価、分析します。

さらに、来年度以降の取り組みとして、残された課題等について、今後どのように対処するかを検討します。

まちの課題	課題の変化	今後の方策
拠点開発の効果を高めるため、施行中の都計道の早期完成	赤塚駅水府橋線が一部供用開始したことにより、車両の走行時間の短縮が図られた。 赤塚駅周辺地区の南北地区の一体化に向け、赤塚駅西線の整備を図る。	赤塚駅周辺地区の南北地区の一体化に向け、赤塚駅西線の整備を図る。
大塚池公園において、市民に親しまれる公園としてのさらなる再整備	老朽化した施設を再整備することにより、人と自然がふれあうまちづくりの再生が図られた。 園内には未だ老朽化した施設が多く、利用者にとって不便をきたしている箇所があることから、さらなる再整備が必要である。	未だ老朽化した施設があることから、施設の再整備を進める。 今後公園利用者の増加を踏まえた整備を進める。
地域コミュニティの活動拠点としての市民センターにおいて、老朽化からの施設の改善	市民センター改築により施設の老朽化や駐車場不足が解消され、地域コミュニティ活動、生涯学習活動、子育て支援、多世代交流等の推進が図られた。	地域コミュニティ活動拠点における地元組織の活動支援を図る。
集中豪雨時における浸水箇所により地区内アクセス性が低下しており、快適な生活環境の実現	局地的な集中豪雨時における低地部付近の排水路整備により、一部浸水箇所が解消された。 残された浸水箇所の解消が必要である。	未だ浸水箇所があることから、浸水対策を進める。

事後評価手続きのスケジュール

平成27年11月17日（火）から平成27年12月15日（火）まで

市民の皆様にご公表し、意見を募集



平成27年12月

皆様からの意見を付し、都市再生整備計画事業評価専門委員会議を開催



平成28年4月1日～

事後評価結果の公表



平成28年度以降

フォローアップの実施

都市再生整備計画事業「赤塚駅周辺地区」に関するお問い合わせ先

水戸市都市計画部 都市計画課 経理係
〒310-8610 水戸市中央1-4-1
電話 029-224-1111 FAX029-224-1117
E-mail toshikeikaku@city.mito.lg.jp